知りたい

真庭市のお仕事 お金の使い道

予算

どんなこと？

一般会計

特別会計

主要事業

広報真庭別冊

平成25年度予算の概要

お金の使い道からみる

今年の真庭市のお仕事

平成 25 年度予算については、市長・市議会議員選挙があったため、当初予算に加えて６月補正予算までを含めたものを、全体予算として紹介します。一般会計予算で見ると、昨年度６月に比べて 11 億 9,962 万円（4.1%）増の 304 億 6,878 万円となりました。今年度真庭市は、この予算をもって、現行の真庭市総合計画に基づいたまちづくりを進めていきます。予算号では、大きく「一般会計」「特別会計」「主要事業」の３つをあげて今年度の予算を詳しく紹介し、お金の出入りや真庭市が積極的に進めていく施策などについてお伝えします。

真庭市観光キャラクター
まにぞう

今年の真庭市はどんなことをするのかな。予算とお仕事を確認しながら、ぼくと一緒に見てみよう。

予算編成

平成 25 年度については、４月に市長・市議会議員選挙があったことから、当初予算は経常的な経費や継続的な事業に係る経費などを中心に計上する「骨格予算」とし、選挙後の６月補正予算で政策的な「肉付け」をする予算編成を行っています。一般会計予算の歳出でその流れを見てみましょう。

【当初予算】　経常的な経費を中心に計上

市民サービス提供に欠かせない経費や施設の管理運営費など経常的な性質を持つものを中心に予算編成しています。また、これまで計画的に進めてきた事業など、継続的に実施することで事業効果が期待できるものについても、当初予算で計上しています。

■主な事業
落合地域総合センター（仮称）建設事業
小・中学校施設整備事業
真庭あぐりネットワーク推進事業
旭川荘真庭療育センター（仮称）整備事業　など

302億8,500万円

【６月補正予算】　政策的要素を肉付け

市長・市議選挙後の６月補正予算では、新市政の施策方針を反映させた政策的な肉付けをしています。地域の活性化を重視して、新たに雇用対策・観光客等誘致事業を計上したほか、防災・危機対策の充実を図るための機器整備費、循環型社会を目指し環境先進都市・真庭を構築するための事業費なども盛り込んでいます。また、国の地方交付税抑制に伴う給与費削減要請に対応して、今年度の職員給与を削減したため、人件費の減額補正をしています。

■主な事業
観光客誘致推進事業
防災行政無線施設等整備費
家庭ごみ資源化促進事業
小水力発電施設整備事業
地域づくり推進事業
認定こども園施設整備事業　など

1億8,378万円

【平成25年度予算】

304億6,878万円

予算の骨と肉って？

新年度に市長選挙など、首長選を控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算のことを「骨格予算」といいます。これに対し、選挙後の補正予算で新市長の政策を反映させた経費を「肉付け予算」といいます。

骨（当初予算）＋肉（６月補正）＝今年の予算

今年の真庭の肉付きはどうかな？

財政指標

現在の真庭市の財政状況はどうなっているのでしょうか。自治体の財政状況を確認するために使われるのが財政指標。平成 25 年度の予算を見る前に、代表的な財政指標を見ながら、真庭市財政の健康状態をチェックしてみましょう。

◆真庭市の借金と貯金
⇒起債と財政調整基金の残高

起債とは、公共施設の建設など一時的にたくさんのお金が必要な場合の借金で、財政調整基金とは、財源不足が起こったときなどに困らないように積み立てる貯金のことです。真庭市では将来に向けて、借金を確実に減らし、貯金を計画的に増やすための行政運営を進めています。

[起債残高と財政調整基金残高の推移]

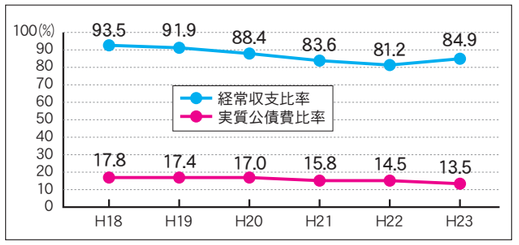
年度	起債	財政調整基金
平成17年度	700億755万円	36億9,662万円
平成18年度	717億5,252万円	42億2,624万円
平成19年度	717億8,398万円	48億7,405万円
平成20年度	698億1,598万円	55億8,105万円
平成21年度	675億1,594万円	72億382万円
平成22年度	664億8,708万円	88億2,630万円
平成23年度	643億5,621万円	101億9,884万円
平成24年度(見込)	625億8,234万円	110億1,452万円

順調に貯金が増えているね。でも、これから地方交付税が減っていくので、もっともっと努力が必要なんだ。

◆財政の弾力性と借金の負担
⇒経常収支比率と実質公債費比率

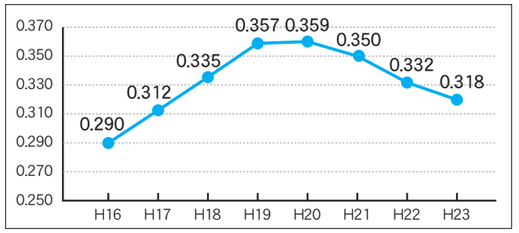
経常収支比率とは、毎年度経常的に使う経費（人件費、扶助費、公債費など）が予算のどれくらいを占めているかを表したものです。数値が小さいほど財政の弾力性が大きく、自治体の施策に使えるお金が多いといえます。

また、実質公債費比率とは、市税や地方交付税のような使い道が自由で毎年収入される財源のうち、公債費（借金返済額）が占める割合を表したもので、数値が小さいほど健全財政といえます。



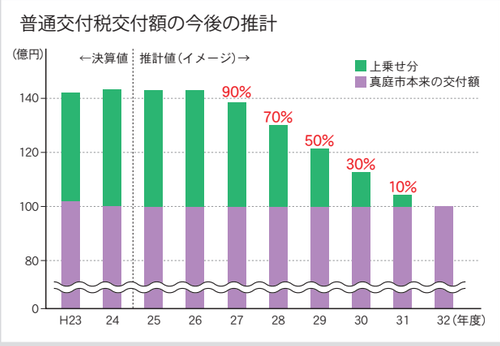
◆財政力指数

自治体の財政力の強弱を示す指数で、必要なお金をどのくらい自力で調達できるかを示したものです。指数が高いほど財政力が強い団体ということになります。



どうなる地方交付税 どうする40億円　合併特例の適用期限あとわずか

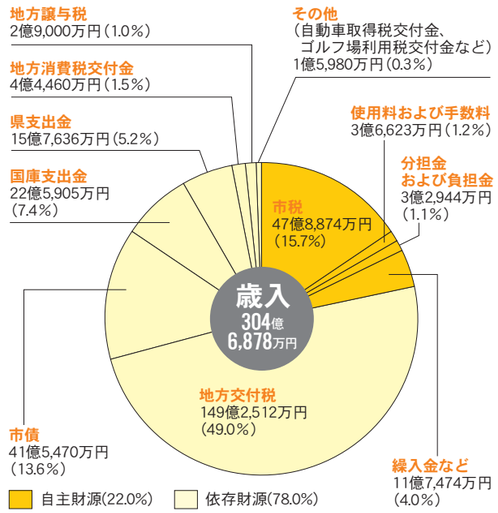
真庭市の収入のほぼ半分を占める地方交付税。地方交付税のうち普通交付税は、これまで合併前の旧町村が存在しているとして、市本来の額より多く交付されてきました。しかし、この合併特例は合併後10年間に限られており、その期限が近づいています。期限が過ぎた平成27年度から５年をかけて段階的に減額され、平成32年度には現在の額に比べて約40億円も下がる見込みです。この事態に備え、基金積立や支出削減を計画的に進めていますが、まだ十分ではありません。これからは、一人一人がこの問題に関心を持ち、地域一丸となって活性化や改革に取り組み、乗り越えていかなければいけません。



真庭市の 一番大きな お財布
一般会計

真庭市で一番大きくお金が出入りする会計の一般会計を見てみましょう。総額は 304億6,878万円で、昨年同時期より 11億9,962万円（4.1%）の増額になっています。歳入と歳出（性質別、目的別）をグラフで紹介します。

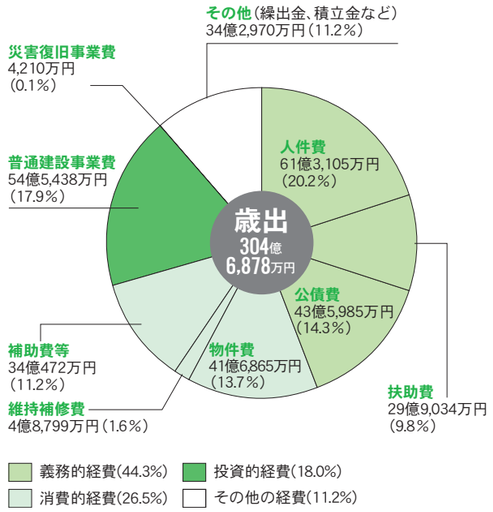
歳入



自主財源はわずか22.0%

一般会計の歳入は、「自主財源」と国や県などに頼った「依存財源」に分けられ、自主財源の割合が高いほど安定しているといえます。自主財源では、その大半を占める市税が 5.7%の増となっています。一方、依存財源では、歳入全体のほぼ半分を占める地方交付税が 0.4%の減、落合地域総合センター（仮称）建設や小・中学校新改築工事などでの借り入れに伴い、市債が 44.3%の増となっています。歳入全体のうち、自主財源は 22%となっており、厳しい財政状況を表しています。

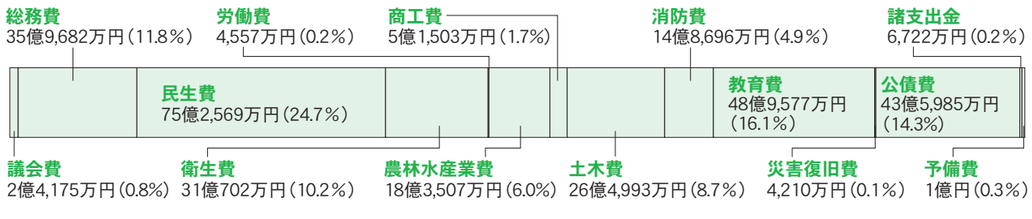
歳出【性質別】



義務的経費が44.3%

性質別と目的別のグラフは、共に一般会計の歳出を表しています。性質別に見ると、職員数減少と給与削減で人件費が 4.2%の減となっているものの、義務的経費が全体の 44.3%を占めています。また、小・中学校新改築工事などにより普通建設事業費が 37.3%の増となっており、投資的経費の割合が昨年度より 4.3%の増。目的別に見ると、庁舎建設事業や市長市議会議員選挙などにより総務費が 9.8%の増。消防救急無線デジタル化などにより消防費が 29.8%の増となっています。

歳出【目的別】



他にもいろんなお仕事がある

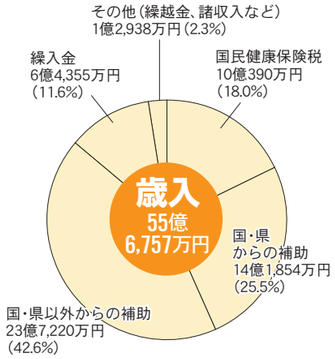
特別会計

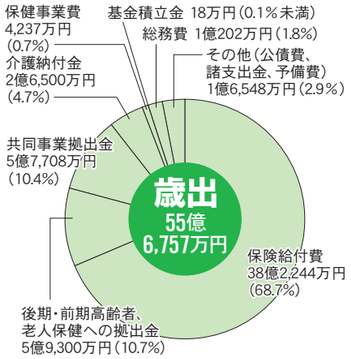
一般会計とは別に、特定の仕事のために使うお金は特別会計と公営企業会計で事業を行っています。特別会計は12の会計に分かれていて、それぞれの目的以外には使わないことになっています。主な事業をグラフで紹介します。

それぞれの会計予算額のかっこは前年度予算との比較、円グラフ内のかっこは総額に対する比率になっているんだね

国民健康保険事業
55億6,757万円（3.1%）

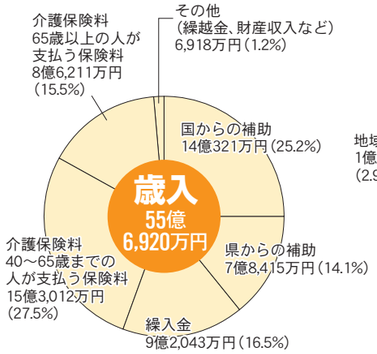
国民健康保険に加入している人が病気やけがで診療を受けたとき、医療費の一部を負担します。真庭市では、この事業で特定健康診査などを行うほかに、加入している人の健康づくりのための事業を行います。

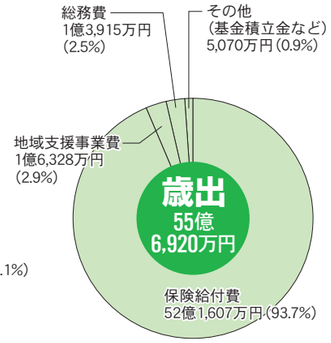




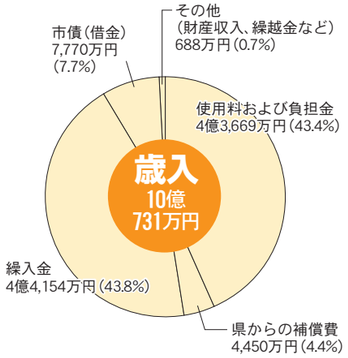
介護保険事業
55億6,920万円（4.1%）

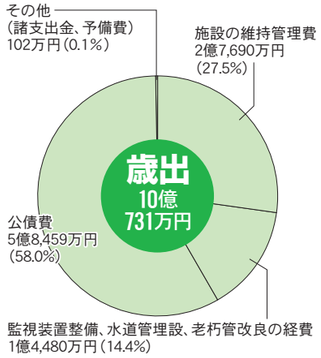
介護保険は、介護や支援が必要となった被保険者に介護サービスや介護予防サービスなどを提供することで、被保険者と家族を支援する制度です。サービス費用のうち、本人負担を除いた費用を事業者などに支払います。





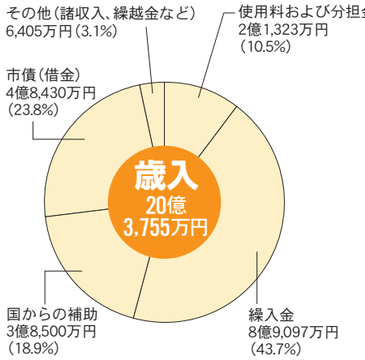
簡易水道事業
10億731万円（△24.2%）

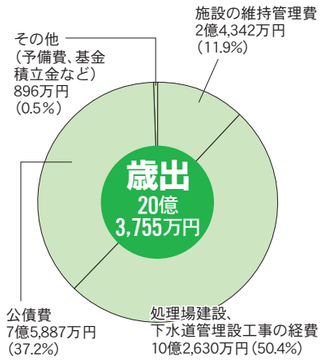




簡易水道は給水人口が100人を越え、5,000人以下である施設をいいます。市では現在21の簡易水道施設があります。水道の健全なる普及運営を目指して、施設の維持管理を行うとともに、未普及の地区にも水道を引くことができるよう頑張っています。

公共下水道事業
20億3,755万円（△11.8%）





公共下水道は、現在、落合、久世、勝山、美甘、八束、川上、中和地区で供用されています。施設の維持管理と下水道が使える地域を広げる工事（管敷設・終末処理場建設）を進めているので、たくさんのお金が必要になります。

その他の特別会計

後期高齢者医療特別会計
6億8,776万円（5.6%）
75歳以上の高齢者の医療費給付を行うための事業

介護保険特別会計〔介護サービス事業勘定〕
6,453万円（1.2%）
要支援1、2の人への介護予防サービスを行う会計

浄化槽事業特別会計
1億5,217万円（2.1%）
下水道の事業区域外で浄化槽を設置する事業

農業集落排水事業特別会計
4億6,316万円（△28.9%）
北房・落合・勝山・中和地区で使われている農業振興地域の下水道事業

分譲宅地事業特別会計
3,908万円（△42.5%）
市が所有する宅地を分譲する事業

津黒高原観光事業特別会計
3,593万円（△53.2%）
津黒高原荘、周辺のスキー場、キャンプ場などを運営する会計

クリエイト菅谷事業特別会計
828万円（△65.3%）
美甘地区の農村型リゾート施設を運営する会計

温泉事業特別会計
1億951万円（△6.4%）
配湯施設の維持管理や湯原ふれあい交流センター、足温泉館を運営する会計

公営企業会計

農業共済事業特別会計
2億8,850万円（△4.1%）
農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済を行う事業。事故によって生じた損害に対して共済金を交付

水道事業会計
12億5,116万円（16.5%）
給水人口が5,000人を超える施設をいいます。真庭市では現在3つ（久世、勝山、落合）の上水道施設があります

国民健康保険湯原温泉病院事業会計
18億5,005万円（△19.7%）
湯原温泉病院を運営する会計

希望と元気のまにわを築くために

主要事業

真庭市では、「賑わいと安らぎの杜の都　真庭」を目標に、真庭市総合計画に基づいてまちづくりを進めています。まちづくりの基本的方向として位置付けられている６つの体系に沿って、優先的に進められていくのが主要事業。ここでは、平成 25 年度の主要事業を紹介します。

Ⅰ．地域資源を活かした産業のまちづくり

中山間地域等直接支払交付金事業

農林振興課

耕作放棄を防止し、水源かん養など農地のさまざまな機能を発揮するため、農業で集落機能を維持する協定を結んだ集落に、お金が支払われます。集落連携などに対する加算金もあります。

財源　国・県補助　1億5,106万円
市の負担　5,075万円

2億181万円

真庭あぐりネットワーク推進事業

農林振興課

営農指導などを行う園芸相談員を設置したり、市内直売所間をつないで直売所の品揃え強化、出荷促進を図ります。また、大阪府高槻市の農畜産物直売所「真庭市場」をこれまでの期間営業から通年営業に拡大。農家の人たちが農作物を楽しく作り、さらには所得向上を図ることを支援します。

財源　県補助など　365万円
市の負担　5,061万円

5,426万円

有害鳥獣捕獲防護事業

農林振興課

農地を荒らすイノシシ、サル、シカなどへの対策を助成し、農作物被害を防止します。有害鳥獣駆除班の活動への補助金、電気柵やトタン、ネットなどの防護柵を設置するための補助金などです。

財源　県補助など　282万円
市の負担　1,298万円

1,580万円

小規模土地改良事業（土地改良）

農林土木課

農業用施設（農業用排水路）の改修を行う事業。今年度は、古見地区ほか６カ所の土地改良（かんがい排水など）を実施予定です。平成 24 年度には、玄澤地区など７カ所を改修しました。

財源　県補助など　2,543万円
市の負担　2,080万円

4,623万円

公有林整備事業

農林振興課

市内にある市有林を適切に整備する事業です。間伐や下刈りなどの森林の保育と作業路の開設などを行います。今年度は、新植 5ha、下刈り 94ha、間伐 122.5ha、作業路の整備 3,000m を予定。

財源　国・県補助など　1億4,240万円
市の負担　2,414万円

1億6,654万円

里山整備事業

農林振興課

岡山県の緊急雇用創出事業を活用して、東日本大震災の被災者支援として林業分野で４人を雇用し、広葉樹林の利用促進に向けた広葉樹の伐採・搬出業務を行います。また、講師を迎え里山に眠っている山野草の有効活用法などを探る「宝探しゼミナール（年４回）」を継続して実施します。

財源　県補助　2,465万円
市の負担　425万円

2,890万円

木材需要拡大事業

農林振興課

真庭産材の利用を促進する事業です。市内製材所で製材した真庭産乾燥材を８㎥以上利用するなど一定の条件を満たし、市内建築業者が建てた木造新築住宅に対して、補助金を交付します。

財源　立木売払収入　700万円
市の負担　1,400万円

2,100万円

観光客誘致推進事業

商工観光課

多くの観光客に真庭に訪れてもらうよう、さまざま手法を展開します。観光ポスターや絵はがきの作成、市外での積極的な PR 活動の実施に加え、教育旅行やコンベンション誘致への助成も行います。

財源　その他　一一万円
市の負担　2,250万円

2,250万円

真庭市応援団ネットワーク推進交流事業

商工観光課

関東・関西圏の市出身者を中心に、観光サポーターズ倶楽部を組織。真庭の情報を提供し、サポーターと市が一緒になって真庭を宣伝しています。平成 25 年７月１日現在のサポーター数は 720 人です。

財源　その他　一一万円
市の負担　426万円

426万円

東京や大阪の人も真庭市を応援してくれてるんだ。真庭の名前が全国に知られて、もっと応援してもらえるようになったら嬉しいな。

広報紙に挿入したはがき

愛Love（ラブ）真庭PR（ピーアール）大作戦

真庭市では、はがきを使って真庭の魅力を発信する「愛 Love 真庭 PR 大作戦」を展開しています。真庭の夏をイメージしたはがきを広報真庭７月号に挿入し配布しているほか、イラストはがきを市役所各窓口で無料配布しています。市外の友人、知人にメッセージを届け、真庭への来訪や移住などのきっかけにするのが狙いです。５万人市民の力で、真庭をもっと元気にしていきましょう。

イラストはがき
（７枚１セット）

商工業振興対策事業費補助金

商工観光課

店舗の魅力づくりや空き店舗の活用をする人、新しく起業しようとする人を支援します。また、市内施工業者により住宅の改修を行う人にも補助金を交付し、地域経済の活性化を図ります。

財源	その他　ーー万円 市の負担　4,560万円

4,560万円

雇用対策事業（商工費）

商工観光課

失業者・求職者などに対する雇用対策として、県の緊急雇用創出基金事業を活用し、産業観光の受入体制整備やおもてなし拠点・情報拠点の整備など、3 つの雇用対策事業を行います。

財源	県補助　1,813万円 市の負担　47万円

1,860万円

真庭ブランド推進事業

商工観光課

地域資源や伝統技術を活かした商品、歴史や文化を伝える商品を「真庭ブランド」として認定。真庭市産業サポートセンターと連携して認定品を市内外に情報発信し、地域産業と観光振興を図ります。

財源	その他　ーー万円 市の負担　420万円

420万円

バイオマス利活用推進事業

バイオマス政策課

真庭市のバイオマス利活用に理解を深めてもらうため、市内の学校に出向き、出前授業を開催したり、イベントに出展し PR します。また今年度は、バイオマス産業杜市推進計画（仮称）を策定予定。

財源	その他　ーー万円 市の負担　586万円

586万円

農商工連携等推進事業

バイオマス政策課

真庭市産業サポートセンターに対して、運営費の負担や産業活性化の事業を委託します。同サポートセンターでは、農商工の事業者間で連携した、共同研究開発や新ビジネスモデル創出などを支援します。平成 25 年度は、新たに地元高校生が地元企業を見学する事業などを実施しています。

財源	その他　ーー万円 市の負担　778万円

778万円

真庭市には、市外や県外からもお客さんが大勢来るイベントが目白押し。観光客の誘致につながっているね。

海の市・山の市

北房ぶり市

はんざき祭り

Ⅱ．交流・連携を支える まちづくり

公共交通環境整備事業

市民課

コミュニティバスの車両（10人乗り、14人乗り）を 2 台購入します。また、蒜山犬挟と市役所本庁舎前に、バスの待合所を設置し、コミュニティバスや民間バスなどの利用環境を改善します。

財源	その他　ーー万円 市の負担　1,642万円

1,642万円

公共交通対策事業

市民課

真庭市コミュニティバス「まにわくん♡」を運行するための経費です。幹線 3 路線、枝線 34 路線の計 37 路線を運行しています。今年度からは、久世・北房ルートを下呰部から上中津井まで延長運行しています。また、公共交通対策会議を開催し、利便性とサービスの向上を図っています。

財源	バス利用料など　3,644万円 市の負担　1億1,071万円

1億4,715万円

道路新設改良事業

建設課

道整備交付金事業で西原下見線と草加部線の 2 路線、過疎対策として 17 路線、辺地対策として 7 路線、市単独で 7 路線を整備します。また、歩道橋整備や法面防災工事を 2 路線で行います。

財源	国補助、市債　4億5,420万円 市の負担　7,180万円

5億2,600万円

橋梁修繕事業

建設課

道路網整備の一環として、修繕の必要がある橋梁について、緊急性が高い橋梁から順に修繕をしていく事業です。市道古風呂線橋梁や市道中村草野線床版橋の工事を実施する計画です。

財源	国補助　2,400万円 市の負担　3,450万円

5,850万円

市営住宅建設事業（補助）

都市住宅課

真庭市では、新たな住宅の建設や老朽化した住宅の統合建て替えなどを計画的に進めています。今年度は、久世地区の高瀬住宅（二期工事）10 戸の建築と宅内の舗装工事を行います。

財源	国補助、住宅使用料　7,742万円 市の負担　8,047万円

1億5,789万円

快適な暮らしの基盤を作るために、道路や住宅の整備のほか、真庭ひかりネットワークの環境整備もしているんだよ。

Ⅲ、安心して暮らせる

まちづくり

予防接種事業

健康推進課

各種予防接種の費用です。麻しん（はしか）・風しん、日本脳炎など14種類の定期接種に加えて、市は独自に、幼児・学童のインフルエンザ、75歳以上の肺炎球菌予防接種費用を助成しています。

財源	その他　ーー万円 市の負担　1億4,925万円

1億4,925万円

妊婦・乳児健康診査事業

健康推進課

妊婦および乳児が心身ともに健康に過ごすため、妊婦の一般健診や血液検査、新生児の聴覚検査（※一部自己負担あり）や1歳未満の乳児健診などについて無料（回数について制限有り）で実施しています。安心して子育てができる環境につながり、母子の健康支援に役立っています。

財源	その他　ーー万円 市の負担　3,520万円

3,520万円

社会福祉協議会負担金・補助金

福祉課

地域福祉の向上を推進するために、真庭市社会福祉協議会へ負担金や補助金を交付しています。内容は、福祉活動を行う専門員の設置費用や社会福祉協議会の運営にかかる費用などです。

財源	その他　ーー万円 市の負担　9,889万円

9,889万円

高齢者在宅生活支援事業

高齢者支援課

独居高齢者、高齢者世帯などをよりこまやかに訪問するために支援員を配置。定期的な訪問の際に、健康面や生活面などの聞き取り確認を行い、気になる場合は専門機関につなげていきます。

財源	県補助　117万円 市の負担　929万円

1,046万円

乳幼児・児童生徒医療費給付事業

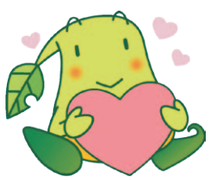
市民課

子育ての支援として、０歳から中学校卒業までを対象に医療費用の自己負担分について無料化を実施しています。小学校就学前までは、岡山県と市が負担し、小学校就学後は、市が独自で支援しています。

財源	県補助　3,082万円 市の負担　1億9,671万円

2億2,753万円

地域みんなで支えあう社会を目指して、認知症キャラバン・メイトや自殺を予防するゲートキーパー、市民後見人などの養成研修や啓発もやっているんだ。



キャラバン・メイト養成研修

誰でもゲートキーパー

市民後見人養成講座

保育園施設整備費（補助）

子育て支援課

昭和56年の建築基準法改正前に建設した園のうち、整備計画に基づき、当面既存の施設を存続する園について耐震診断を行います。今年度は、勝山こども園と八束保育園で実施します。

財源	国補助　137万円 市の負担　288万円

425万円

認定こども園施設整備事業

子育て支援課

既存の保育園・幼稚園を再編し、認定こども園の設置に向けて、必要な施設の改修工事などを行います。今年度は、河内こども園（仮称）の設置に向け、施設の改修を行います。

財源	その他　ーー万円 市の負担　808万円

808万円

障害者福祉臨時管理費

福祉課

障がい者支援の複合的施設となる旭川荘真庭療育センター（仮称）整備事業に対して助成を行います。施設では㈳旭川荘が専門性を生かした障がい福祉サービスなどの提供を行います。

財源	市債　1億760万円 市の負担　1,240万円

1億2,000万円

地域生活支援事業（福祉関連）

福祉課

障がいのある人や家族の、さまざまな相談に対応できるよう専門知識を持った精神保健福祉士などの相談専門員を配置し、支援体制を整備しています。また、障がいのある人の自立生活支援として日常生活用具（ストマ用装具、紙おむつなど）の給付や手話通訳者の派遣などを行っています。

財源	国・県補助など　2,104万円 市の負担　3,102万円

5,206万円

地域生活支援事業（健康推進関連）

健康推進課

自立と社会参加の促進を目的に、ひきこもり傾向の人や障がいのある人、心の病で悩んでいる人や家族を対象とした研修会や活動を支援します。また、ゲートキーパー（心の門番）養成講座も行います。

財源	国・県補助　274万円 市の負担　501万円

775万円

旭川荘真庭療育センター（仮称）完成予想図

消防署に消防団、自主防災組織。行政と地域が連携して防災体制を整えているんだね。非常持出袋を用意するなど、家庭でもできることがあるんだよ。

常備消防施設 臨時管理費

消防本部

美作地区３消防本部の消防救急無線デジタル化を進めます。また、真庭市消防本部庁舎の耐震化を行います。昭和 47 年に建てられ老朽化が進んでいた本部庁舎は、平成 23 年度に耐震診断を実施。診断で指摘を受けた箇所の耐震補強と改修工事を行い、地域防災拠点の整備を行います。

財源		
	国補助･市債など	3億1,480万円
	市の負担	3,464万円

3億4,944万円

防災行政無線 施設等整備費

危機管理課

消防団の機能強化を図るため、携帯型の防災行政無線機を全ての方面隊に整備します。今年度は落合、勝山、美甘、湯原の４方面隊に整備します。（北房、久世、蒜山方面隊は整備済みです）

財源		
	その他	ーー万円
	市の負担	2,839万円

2,839万円

災害対策 経常管理費

危機管理課

災害が発生した時の避難生活に備え、各備蓄拠点に災害用備蓄品を整備します。長期保存が可能な食料のほか、室内テントやロールマット、簡易トイレなどを購入する予定です。

財源		
	その他	ーー万円
	市の負担	1,922万円

1,922万円

各種負担金及び補助金（防災･危機対策関連）

危機管理課

自主防災組織の育成･強化と地域防災活動の推進を図るため、防災資機材の整備や訓練などをする自主防災組織に対して、補助金を交付します。（補助金についての詳細は右表のとおり）

財源		
	その他	100万円
	市の負担	900万円

1,000万円

地域で取り組む自主防災

安心・安全な地域をつくるには、地域全体が連帯感を強め、組織的な行動をすることが大切です。真庭市では、自主防災組織づくりを進め、地域の防災力を強化するために、下記の補助金を交付しています。

◆自主防災組織補助金◆

区　分	補助対象	補助金額	補助限度額
防災資機材整備事業	非常食、簡易トイレなどの防災資機材の購入経費	加入世帯×1,000円	加入世帯数まで
	発電機、ラジオなど基本備品の購入経費	対象経費×2/3	構成自治会数×100,000円 ※１組織１回まで
避難誘導看板整備事業	避難所などへの誘導看板の整備経費	対象経費×2/3	100,000円 ※１組織１回まで
防災マップ整備事業	防災マップの作成経費	対象経費×2/3	100,000円 ※１組織１回まで
組織運営事業	防災訓練・研修会の開催経費	参加者数×200円	50,000円 ※１組織１回まで
	自主防災リーダー養成に必要な経費	資格取得の受講料	61,000円 ※１人１回まで

Ⅳ．環境と共生した まちづくり

小水力発電施設 整備事業

農林土木課

農業用の北房ダムに小水力発電施設を整備するための調査費。小水力発電は太陽光や風力に比べ、天候や時間帯に左右されず安定供給でき、北房ダムは自家消費に加えて売電も見込まれています。

財源		
	国補助	800万円
	市の負担	250万円

1,050万円

家庭ごみ資源化 促進事業

環境課

平成23年度からモデル地区を設けて、生ごみの分別収集と堆肥化の実証実験をしています。今年度は本格実施に向けて、久世地区全域に範囲を拡大。また、真庭市廃棄物減量等推進審議会を設立し、減量化・資源化やごみ処理施設の運営、処理手数料などの方向性について検討します。

財源		
	その他	ーー万円
	市の負担	2,355万円

2,355万円

蒜山タンチョウの里 整備事業

環境課

人と自然が共生するまちづくりのシンボルとして、平成 25 年３月に蒜山三木ヶ原にオープンした蒜山タンチョウの里。今年度は施設の周辺整備を行います。蒜山タンチョウの里は一般開放されており、タカ（雄）とマミ（雌）の２羽が立ち寄った観光客らのお出迎えをしています。

財源		
	その他	240万円
	市の負担	1,259万円

1,499万円

火葬場施設 整備事業

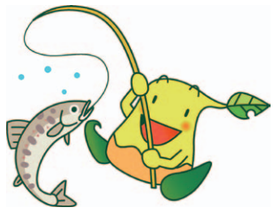
環境課

老朽化で建て替えが決まっている火葬場について、火葬場整備計画に沿って整備します。真庭火葬場（久世）の用地購入と敷地造成、実施設計、北部火葬場（蒜山）の実施設計を行います。

財源		
	市債	8,800万円
	市の負担	2,463万円

1億1,263万円

ペットボトルや空き瓶、古新聞などは分別すれば資源になるんだ。真庭市では、資源回収推進団体には回収量に応じて補助金を交付しているよ。登録方法など詳しくは環境課まで。



家庭や事業所からでるごみや排水をちゃんと処理しているから、きれいな水環境が保てるんだね。

最終処分場臨時管理費

クリーンセンターまにわ

一般廃棄物最終処分場（目木）のえん堤かさ上げ工事をするための経費です。この最終処分場は、クリーンセンターまにわから出る焼却灰などを埋め立てている場所で、埋立計画に沿ってかさ上げ工事をする予定。今年度の工事は、全８期の計画のうち、第５期目に当たります。

財源　その他　ーー万円
市の負担　1,840万円

1,840万円

簡水改良施設整備事業（簡易水道事業特会）

水道課

美甘、蒜山地区で井戸の新設工事や老朽管改良工事などを行うほか、北房地区の簡水に中央監視盤を設置。また、川上簡水の冬期水量不足解消のためボーリング調査も実施します。

財源　国補助･市債など　7,770万円
市の負担　2,060万円

9,830万円

公共下水道事業（公共下水道事業特会）

下水道課

清潔で快適な生活環境をつくるため、公共下水道を整備しています。今年度は、下水道供用開始区域の拡大に向けて、久世、勝山および落合処理区域の管路（下水道管）整備を実施します。

財源　国補助･市債など　8億4,140万円
市の負担　2,565万円

8億6,705万円

飲用水供給施設整備事業

水道課

水道未普及地域解消のため、落合地区（高の巣）の飲用水供給施設整備を実施します。また、上水道や簡易水道などの水道施設が整備されていない地域で、簡易給水装置の新設や修繕をする場合には、補助金を交付しています。（５戸以上で整備する場合には、前年度８月末までに申請）

財源　市債･地元負担金　5,922万円
市の負担　1億1,773万円

1億7,695万円

下水道への接続をお願いします

下水道処理区域にお住まいの皆さんへ

住みよい環境づくりのために

下水道は、住宅などから排出される汚水を終末処理場で処理することによって、清潔で快適な生活を支え、河川環境の保全にも貢献できるものです。

３年以内の接続が義務です

下水道が使用可能となった処理区域では、３年以内に水洗便所への改修と下水道への接続が義務付けられています。早めに接続をお願いします。

下水道接続は指定工事店で

下水道への接続工事は市が指定する工事店でなければできません。指定工事店は、下水道課にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

Ⅴ．人と文化を育む

まちづくり

小学校施設整備事業

教育総務課

耐震診断の結果を受け、十分な耐震性が認められない小学校の耐震補強を行います。校舎や屋体の耐震補強工事は、木山、川東、湯原、月田小学校で、耐震補強工事設計を富原、勝山、落合、月田小学校で行います。また、落合、富原小学校ではプールの改修工事を行います。

耐震補強工事が始まった湯原小学校

財源　国補助･市債など　6億7,630万円
市の負担　3,394万円

7億1,024万円

中学校施設整備事業

教育総務課

蒜山中学校校舎の新改築工事と落合中学校校舎・屋体の新改築工事を実施します。また、勝山中学校に真庭産木材を使用した机・椅子（真庭モデル）を購入する経費なども含まれています。

財源　国補助･市債など　14億7,850万円
市の負担　1,594万円

14億9,444万円

教師力アップ推進事業

学校教育課

知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育むため、専門家としての教師力を向上させる事業です。授業改善や補充学習、学習習慣などの視点で学力向上を図る学力向上市町村プロジェクト事業も実施。

財源　県補助　100万円
市の負担　289万円

389万円

保健体育施設等臨時管理費

生涯学習課

地域住民が気軽にスポーツに親しみ触れ合う場である保健体育施設などの整備を行います。今年度は、屋根や外壁などが老朽化している平成の森ドーム（蒜山）の改修工事を実施します。

財源　その他　ーー万円
市の負担　5,155万円

5,155万円

文化振興事業

生涯学習課

文化協会などの活動支援や文化施設での各種公演などを行い、文化振興を図ります。この他、美作国建国 1300 年記念事業の負担金、アートアニメーション事業の実施経費も含まれています。

財源　国補助など　448万円
市の負担　1,516万円

1,964万円

湯の国ゆばらオープンペタンク大会

蒜山高原マラソン全国大会

落合放課後子ども教室交流会

このほかに、スポーツ大会開催や放課後こども教室の運営支援などもしているんだ。勉強をしたり、体を動かしたりする環境っていっぱいあるんだね。

Ⅵ. みんなで築く

まちづくり

行政改革推進事業

総合政策課

維持管理コストや利用率など、あらゆる面から真庭市の公共施設を分析して、その結果を「公共施設白書」としてまとめます。公共施設のあり方を見直し、効率的な運営を進めます。

財源	その他　ーー万円 市の負担　586万円

586万円

協働のまちづくり推進事業

総合政策課

住民主体のまちづくりを進めるため、地域づくり委員会や地域自主組織の活動に対して補助金を交付しているほか、小規模で高齢化が進んでいる自治会に対しても支援を行っています。また、市民活動の情報・交流拠点となっている市民活動支援プラザの運営委託なども行っています。

財源	その他　387万円 市の負担　7,293万円

7,680万円

地域づくり推進事業

総合政策課

地域外の人材を受け入れ、中山間地域の活性化を図る事業です。地域おこし協力隊員を１人募集・採用します。地域課題などを調査し、地域に入って各種協力活動などを行っていく予定です。

財源	その他　ーー万円 市の負担　279万円

279万円

庁舎建設事業費

総務課

落合支局の機能を備えた落合地域総合センター（仮称）の建設に係る経費です。今年度は、落合公民館の解体工事を行い、平成 26 年度末の完成を目指して年度内に建築工事に入ります。

財源	国補助市債など　5億7,144万円 市の負担　7,356万円

6億4,500万円

各地で開催されているイベントや行事も、地域みんなの触れ合いの場になって、協働のまちづくりにつながっているんだね。

■市役所電話番号表■

部署名	電話番号
議会事務局	0867-42-1272
監査事務局	0867-42-1280
会計課	0867-42-1249
市長直轄組織	
危機管理課	0867-42-1126
総合政策局	
総合政策課	0867-42-1169
（行政改革推進室）	0867-42-1179
（協働推進室）	0867-42-1169
（情報推進室）	〃
総務部	
総務課	0867-42-1150
秘書広報課	0867-42-1163
財政課	0867-42-1167
管財課	0867-42-1174
市民環境部	
市民課	0867-42-1112
（選挙管理委員会事務局）	0867-42-1072
税務課	0867-42-1114
（国土調査室）	0867-42-1028
債権回収対策室	0867-42-1115
環境課	0867-42-1113
（地球環境対策室）	〃
健康福祉部	
福祉課	0867-42-1581
子育て支援課	0867-42-1054
健康推進課	0867-42-1050
高齢者支援課	0867-42-1074
（地域包括支援センター）	0867-42-1079

部署名	電話番号
産業観光部	
農林振興課	0867-42-1031
（農業委員会事務局）	0867-42-1676
農林土木課	0867-42-1096
商工観光課	0867-42-1033
バイオマス政策課	0867-42-5022
建設部	
建設課	0867-42-5033
都市住宅課	0867-42-7781
（建築営繕室）	〃
水道課	0867-42-1108
下水道課	0867-42-1109
振興局	
蒜山振興局（総務振興課）	0867-66-2511
（中和出張所）	0867-67-2111
（川上出張所）	0867-66-3611
支局	
北房支局（総務振興課）	0866-52-2111
落合支局（総務振興課）	0867-52-1111
勝山支局（総務振興課）	0867-44-2607
美甘支局（総務振興課）	0867-56-2611
湯原支局（総務振興課）	0867-62-2011
教育委員会	
教育総務課	0867-42-1085
学校教育課	0867-42-1087
生涯学習課	0867-42-1094
（スポーツ・文化振興室）	〃
消防本部	0867-42-1190
湯原温泉病院	0867-62-2221

＜用語解説＞

【一般会計と特別会計】

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を経理する会計で、特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区別して経理するための会計です

【歳入】

自主財源：市税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入など自治体が独自に調達できる財源

依存財源：地方交付税、国庫支出金、地方譲与税、地方特例交付金、地方債など国や県などに依存するかたちで調達する財源

市税：市民の皆さんに納めていただく税金（市民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など）

地方交付税：地域間の財政力の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを提供できるようにするために国が一般財源として配分する税

市債：市の借入金で償還（返済）が２年以上に渡るもの

国庫支出金・県支出金：市町村が行う各種事業に対して国・県から交付されるお金

【歳出】

人件費：議員報酬や職員給与など

物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費

扶助費：社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者などに対して行っているさまざまな支援に要する経費

補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費

普通建設事業費：道路や公共施設の建設事業の経費

災害復旧事業費：災害で被災したものを復旧するための経費

失業対策事業費：臨時的に就職の機会を与えることを目的に、失業対策事業などを行う経費

公債費：市の借金などを償還（返済）するための経費

積立金：財政運営を計画的にするため、財源変動に備えて積み立てる経費

繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で相互に資金運用するための経費

広報真庭別冊
平成25年度
真庭市予算の概要

平成25年8月1日発行

-発行-
真庭市役所

-編集-
総務部秘書広報課
〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2
TEL 0867-42-1163 FAX 0867-42-1341